

西東京市男女平等推進センター「パリテ」登録団体紹介

NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ ちろりん村

「ちろりん村」には、子どもが大好きで個性的な26人の輝くメンバーがいます。そして皆がそれぞれの力を発揮して、生活クラブ保育園「ぼむ」の保育・給食調理や、地域の子育てを支援しています。

「ちろりん村」は今から15年前に、生活クラブの組合員が「子育てを応援するグループを作ろう」と集まり生まれました。その頃から0～3歳児とその保護者が集って楽しむ企画を開催していました。2007年に保育園「ぼむ」が新設され、私たちのボランティア活動を事業化することを決意し、「ワーカーズ・コレクティブ」という協同労働の形を選びました。これは普通のお勤めとは異なり、事業の運営も労働も出資も話し合っ決めて、「全員が運営者」という働き方です。

子育ては一人ではできないし、最初からうまくいかないことばかり。だからこそ支え合い、助け合ってその時期を過ごした経験が事業の根底にはあります。「人と人」をつなぎ、顔の見える関係を大切に育み、一人でできないことを人に頼ったり、地域の課題に取り組んだり。集い・話し・好きなことを見つけ・新しいことを始める。そんな親子が「ちろりん村」に集まります。利用者は現在、年間のべ9,000人にのびります。

ホームページのイベントカレンダーをご覧ください。参加し

てみたいと思ったら、ぜひ申し込んでくださいね。

【主なメニュー】

- ① 仲間づくりや情報交換ができる「ミトンの会」「ぼむぼむひろば」
- ② 参加者主体で学び合う「ノーパティズ・パーフェクト」「BPプログラム」
- ③ 親子で楽しむ「産前産後やアラフォーママのエクササイズ」「リミック」「親子コンサート」「積み木」「巨大迷路」
- ④ 食べることを大切に「離乳食教室」「子ども料理体験教室」
- ⑤ 家庭に届ける子育て支援「ホームスタート」
- ⑥ 人材育成「訪問ボランティア養成講座」「食育サポーター」

「ホームスタート」は今年で3年目に入り、年々利用者が増えています。訪問するボランティアさんは30人。皆さんからの利用申し込みをお待ちしています♪



▲リミックや積み木、コンサートなど親子企画(左)。地域の子育てや食育を支える人材の育成(中央)。生活クラブの食材を使った、子どもたちに人気の給食(右)

お問い合わせ

「生活クラブ保育園ぼむ内」NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ ちろりん村

☎/FAX : 042-425-0788

E-mail : chiorinmura@mbn.nifty.com

URL : <http://npochiorinmura.jimdo.com/>

団体登録

(男女平等推進係)

男女平等参画社会の実現をめざして活動するグループを支援します。団体登録をしていただくと、次のとおり施設をご利用いただけます。

活動室

- グループ活動や、活動の際の保育室としてご利用いただけます。(無料)
- 登録団体は2カ月前(その他の方は1カ月前)から予約申し込みができます。
- 利用時間 午前9時～午後10時

団体連絡箱

グループで作成したチラシなどを配布できるロッカーです。申請をしていただくと、ご利用いただけます。

愛称「パリテ」とは・・・
フランス語で“平等な”という意味です。

- ◆企画・編集◆ 男女平等推進センター企画運営委員会
- ◆発行◆ 西東京市生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課
〒202-0005
西東京市住吉町6-15-6 住吉会館内
☎ 042-439-0075

- ◆企画運営委員会委員◆
加藤真理、齋藤博、齋藤三枝子、白井香澄、田崎吉則、田村悠、本橋里実、吉田朋子
- ◆制作◆ 株式会社ドゥ・アーバン

▶ご意見、ご感想をお寄せください。情報誌「パリテ」は西東京市のホームページからもご覧いただけます。
<http://www.city.nishitokyo.lg.jp>

Access



編集後記

自己の確立って大変なこと。他人からの何気ない一言で精神的に落ち込んだり、悩むことがある。一人ひとり違うことは当然のことなのに。そんな時、セルフイメージという文字を目にした。そう！私は私。これが私！と胸を張れたらと思う。
加藤真理

昨年11月に都内で同性パートナーシップ証明書や宣誓書の受領書発行の取り組みが始まりました。多様性のある社会実現への第一歩ですが、当事者の方々の気持ちは様々とも。周囲は理解しつつもそっと見守りたいものです。
白井香澄

SOSをだす自分はダメと考えてしまう男性介護者「ケアメン」の気持ちがなんとなくわかります。介護しながらも、たまには同じ境遇の人たちと話して情報共有できる場がほしい、そう思うのは子育て中の私もそうだったからです。
田村悠

今回の特集のケアメンの話は、同じ男性として大変響くお話でした。家事、育児、介護、とかく、きめ細かく、完璧にやることを求められがちな今の社会で、こういう作業に慣れていない男性陣の苦悩は深いと思います。
田崎吉則